

患者さんへ

がん化学療法患者における血糖関連検査の実施状況と
高血糖出現因子の探索的検討
ー薬学的モニタリング体制構築に向けてー

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開し、拒否できる機会を保障することが必要とされています。

1. 研究の対象

2025 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに当院において抗悪性腫瘍薬による治療を受けられた患者さん

2. 研究目的・方法

がん化学療法を受けた患者さんを対象として、血糖値やHbA1c（ヘモグロビンエーワンシー：過去 1～2 か月の平均的な血糖値を反映する検査値）などの血糖関連検査の実施状況を明らかにするとともに、治療期間中に血糖値 200 mg/dL 以上の高血糖を認める患者さんの背景および治療に関連する要因を探索的に検討することを目的とし、診療録等の情報を用いて行います。がん化学療法では、吐き気や嘔吐を予防する目的などで、副腎皮質ステロイド薬（デキサメタゾンなど）が広く使用されていますが、この薬剤は血糖値を上昇させることが知られています。本研究により、がん化学療法を受ける際に高血糖を来す可能性の高い患者さんの特徴や、現在の血糖値の測定状況における課題を明らかにすることで、薬剤師を含む医療従事者による適切な血糖値の測定体制や薬学的な介入体制の構築に寄与することが期待されます。

研究の期間：施設院長許可後（2026 年 9 月予定）～ 2026 年 12 月

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしません。その場合は、「6.お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合があります。

4. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢、身長、体重、糖尿病の有無、抗がん薬治療の内容、ステロイドの投与状況、血糖値の測定結果 等

5. 個人情報の取扱い

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

和泉市立総合医療センター 薬剤部 薬剤師 近江矢佳菜子（研究責任者）

住所：〒594-0073 大阪府和泉市和気町四丁目 5 番 1 号

電話：0725-41-1331

作成年月日：2026 年 10 月 1 日（第 1.0 版）